第九たいむず

No.8　2014.7.24　通刊 1101 号　担当　Todo

ホームページ：www.takasaki9.com　メールアドレス：takasaki9@myad.jp
〒370-0863　高崎市聖石町9-13（赤羽方）　TEL/FAX：027-322-0996　緊急 090-1828-8052（あきら）

◆新人歓迎会が行われました

先週、練習終了後に新人歓迎会が行われました。現時点新人さん登録数は16名。このうち10名の新人さんが出席され、新運営委員の萩原さん、髙橋さんの司会で紹介されました。

新人の皆様、ようこそ高崎第九合唱団へ！私たちと楽しい音楽の時間を過ごしてまいりましょう。皆さん、新しい団員さんのお名前とお顔を早く覚えましょうね。
（7/17 現在の団員登録数はS48・A45・T20・B16の計129名です。）　飯島団員より激励⇒⇒⇒
＜31年前に新人の時を送った、バス安達さんより、新人時代の思い、そして初めて高崎第九で歌った感動を綴った、当時勤務の会社社報の投稿がありました。裏面に掲載します。ご参考まで＞

◆先週のおさらい

♪ママがサンタにキスをした　**太字**の部分にアクセントをつけて歌いましょう
18ページ　サンタの　おじさんが　　19ページ　おもい　ふくろ
20ページ　やさしく　キッスして　／　でも　そのサンタは　パパ

◆来週は練習会場が変更になります

来週7月31日は中央公民館保守点検日のためいつもの会場が使用できません。そのため、練習会場が高崎市文化会館地下の小ホールに変更になりますので、お間違えのないようにお願いします。駐車場の変更はありません。

◆題字「第九」の文字が決定しました！

19日に行われた運営委員会において厳正な選考の結果、今年はアルト羽鳥さんの文字に決定しました。この文字が今年の演奏会のポスター、チラシ、プログラム等に活用されます。
羽鳥さん、そのほかご応募くださった皆さん、ご協力誠にありがとうございました。

◆チケットについて

運営委員会において、チケット配布方法について再度協議した結果、予め希望の席の種類と枚数を先行予約という形で申し込んでいただいてからチケット配布をすることになりました。詳細は追ってお知らせいたします。なお、具体的に席番を指定することはできませんので、予めご了承ください。

◆サマーレッスン　昼食　受付中　及び「納涼祭」受付開始！

☆8月24日(日)10:00～16:00（中央公民館集会ホール） 昼食の栄寿亭のかつ丼と飲み物のセットを 550 円で受け付け中です。希望される方は代金を添えてお申込みください。
★納涼祭　：サマーレッスン終了後17：00～19：00メド。会場：東口「アイアイ」 会費 3500 円
受付に案内兼申込用紙を置きます。会費を添えて 8 月7日(木)までにお申し込み下さい。
恒例の納涼祭、「アイアイ」のイタリアンで楽しく暑気払いをしましょう。（担当バス大里・若月）

◆軽井沢合宿申し込み開始しますNEW！　代金を添えてお申込みください。

＊日時：11月8日（土）13：30～9日(日)16：00
＊場所：武蔵野音楽大学軽井沢研修センター
＊参加費：1泊2日食事、特別レッスン付きで8000円（高校生以下は6000円）
（費用には施設利用料、食事、おやつ、飲み物、レッスン代、事務費などが含まれます。）
＊申し込み締め切り：10月2日(木) この日以降のキャンセルは不可。追加はOK。
＊交通手段：原則各自ですが、参加者が多くなる見込みですので、できるだけ乗り合わせでお願いします。相乗り希望の方は受付にお申し出ください。（同乗の方は運転手さんに片道500円お渡しください。）

軽井沢の素晴らしい環境のもと、合唱の完成度を増し、団員相互の親睦を深める良い機会です。特に新人さんはぜひご参加ください。全曲を通してのレッスンのほか、第九や音楽にまつわるお話も聞けますし、先生方や団員さんと交流を深めることができますよ。

◆緊急時連絡手段についてのアンケートをお願いします

2月の大雪や、先日の大型台風の到来など、緊急時の連絡方法の手段についてのアンケートを実施します。緊急時の連絡に最適な手段をひとつだけ選んでご記入の上、パートリーダーさんにご提出ください。連絡を希望されない場合でも必ずご提出をお願いいたします。

◆今後の予定

8月24日（日） サマーレッスン 10：00～16：00（中央公民館集会ホール） これまでの集中練習
納涼祭 （サマーレッスン終了後／有志参加、AIAI） 会費3500円
１１月８・９日（土・日） 軽井沢合宿レッスン（武蔵野音大の研修センターを全館借上げ！）
１２月２０日（土） 第41回演奏会(群馬音楽センター、群馬交響楽団演奏、円光寺雅彦指揮)

◆イベント情報

◎Festa d'Estate～夏祭り～
8月9日(土)13：30開場 14:00 開演 高崎シティーギャラリーコアーホール 入場料 2000 円
バス水谷さんの教え子である藤原歌劇団準会員「新後閑（しごか）大介」さんが出演のコンサートです。
詳しい情報、チケットのお求めは、バス水谷さんまで。

◎秋友会50周年記念コンサート
8月31日（日）13：30開演 前橋市市民文化会館 大ホール チケット 2,000 円
オペラアリア集、ピアノ協奏曲第 1 番、荘厳ミサ曲
諸田広美さんがソリスト、アルト羽鳥さんが合唱で出演されます。
チケットご希望の方はアルト羽鳥さんまで。

◎日本とロシアの音楽の歴史的交流「音楽の架け橋」
9月23日(火・祝) 14：15開場 15：00開演 高崎市文化会館 入場料(ドリンク付き) 3000円
我らがユリヤ先生企画、出演の日本とロシアの音楽の歴史に思いを馳せたコンサートです。
出演は、ご主人のグルチンさん他群響メンバー、諸田広美さん、佐藤貴子さん他女性ソリスト、ユリヤさん他器楽陣、司会、瀧川幸恵先生です。 チケットは、ユリヤ先生又は各チケットセンターへ。
＜チラシ裏面を、本紙裏面に掲載致しました＞

◎北大合唱団東京OB会クラークククラブ・横浜国立大学グリークラブOB会合唱団：Joint Concert in Yokohama ――バス：安達さんが出演する重厚な男声合唱団のコンサート案内です――
9 月 28 日（日）神奈川県立音楽堂 1:30pm 開演 入場料 1,000 円
詳細はバス安達さんにお尋ねください。

◆ちょっといい話？余話

先週、紹介した、アルト湯澤さんご一家の日テレ出演のビデオを入手しました。ご紹介しましょう。あん入りの「やきまんじゅう」もあるという所を、語っている場面です。ソプラノの美香さんに抱かれているのは、陽菜ちゃんの妹さん、陽菜ちゃんも見えます。そして、左手前が湯澤さんのご主人。
当該のまんじゅうやさんは、放送後混乱しているとか！！

＜新人団員に送る、バス：安達伸一さんの新人時代感想＞

1983年、高崎第九合唱団第10回記念演奏会（NHK 交響楽団と共演）に初参加した、40代後半の安達さんが、当時ご勤務の会社の社報に掲載した一文です。
今年の、新人さんに贈ります。

"大苦（第九）奮戦記"

感激!! N響バックに大合唱

藤岡・安達伸一

元日の朝、久しぶりにくつろいでいると、近くから8時の時刻を知らせるメロディが流れてきました。ミ・ファ・ソ・ソ・ファ・ミ・レ・ド・レ・ミ・ミレ・レ……。昨夜も遅くまでTVとFMが大合唱を族送していた。私の興味と関心を持っているベートーベンの第九である。

3年前の春、妻がなにげなく高崎の第九合唱団が団員を募集していて、オーケストラはNHK交響楽団であると話してくれた。以前から同好の志が高崎で第9を歌い続けているのは知っていたが、積極的に参加しようと思っていなかった。しかし、その時は心境の変化でなぜか参加してみようと思う気持が強かった。早速新聞記事の参加募集要項をひととおり読んで、気持を新たに結団式に臨んだのは4月の終りごろだった。会場入口の受付の人から、入会金と団費しめて6千円、発表の日まで約30回の練習に参加しなければならないと教えられた。途中で落伍してしまう不安にかられ入会すべきか少しためらいはあったが、はじめが肝心と腹を決め入会申し込みを済ませた。

高崎第九合唱団は結成後10年この間立派な運営方針と熱心な指導者、そして組織的な運営により逐年発展を遂げている。問題は、私がこのレベルについていけるかどうかである。しかし参加した以上はともかく、週1回、夜約2時間の練習に休まず遅れず、11月末の発表の日まで通うこと以外にすべはないと腹を決めた。練習の時間割は、発声練習、ドイツ語発音練習、パート練習、合唱練習と4つに分かれている。昔合唱らしきものを少しはかじった経験はあるものの、回りは見知らぬ人ばかりそのうえ練習は厳しい。"ダメ"の繰り返し。"本番は無本だから楽譜を見てはいけない"。"出席率の悪い人は本番に出られない"。といった厳しい声がとぶ。

そうこうしているうちに、声は出なくともドイツ語の発音がまずくとも、なぜかベートーベンの魔力に取り付かれてしまい、厳しさの中で楽しさが増してくる。ダイネ・ツァウバー・ビンデン・ヴィーダ・ヴァス・ディ・モーデ・シュトレング・ゲタイルド……やっているうちにだんだん本気になってきた。

難行苦行を終えて、いよいよ本番。本音としてはN響をバックにしてと思いたいが、実質はN響のバックとして、好ましくはN響と共に歌う日が来た。

偉大なオーケストラ故に、練習期間中にオーケストラと合わせるチャンスは1度もなく、共演は当日ぶっつけ本番であった。2楽章が終ったところでステージに上がった。3楽章が終り、4楽章にはいってからは、指揮者の棒から目が離せない。緊張の一瞬、指揮はあの有名な外出雄三氏。見事な指揮棒によって合唱をひき出した。一度声がでるとでるもので、日頃の練習の成果が充分に発揮された、とはまさにこのようなことであろう。そして大合唱は終った。フロイデ!!

途中、妻の病気、その他で休まず、遅れずの練習通いは実行できなかったものの、N響と第九を歌うことができた感激は忘れがたいものであった。

年の瀬が押し詰った時に、第九のテーマ「苦悩を通して歓喜に到る」を聴きながら、次の飛躍を念願している1人である。

日本とロシアの
音楽の歴史的交流
「音楽の架け橋」

日本とロシアには長い長い音楽の交流があります。
ロシア民謡は日本人の感性にもマッチし、広く唱われ愛されていますし
チャイコフスキーやストラヴィンスキーなどの曲は演奏会には欠かせないものとなっています。
本コンサートは、3部構成により、皆様お馴染みの曲はもとより
知られざる珠玉の名曲の数々をお贈りいたします。
休憩時にはロビーでドリンクをお飲みになりながら
日本とロシアの音楽の歴史に思いを馳せて下されば幸いです。

●こんな曲を演奏いたします●

山田耕筰の歌曲(「この道」、[ペチカ]他)、並びにロシア民謡と外来歌(「ともし火」、「モスクワ郊外」)、
中田喜直が編曲した「日本の四季」による歌とチャイコフスキーの「四季」より、
武満徹が作曲し、ロシアの映画監督アンドレイ・タルコフスキーに捧げられた、
ヴァイオリンとピアノの為の「ノスタルジー」、
ストラヴィンスキーの「日本の抒情歌による3つの歌曲」や、カバレフスキーの「さくらさくら変奏曲」…
などなど、日本とロシアの「音楽の架け橋」となる曲をメインに構成いたしました。

●出演者●

群馬交響楽団のメンバー	伊藤 文乃(コンサートミストレス)／宮坂 花菜(ヴァイオリン)／池田 美代子(ヴィオラ) レオニード・グルチン(チェロ)／中條 秀記(フルート)／白水 裕憲(フルート) 野田 祐介(クラリネット)／高子 由佳(クラリネット)／森重 修実(指揮) 高子 由佳(クラリネット)／湯川 研一(ホルン)／山本 貫大(パーカッション)
歌手(出演順)	鷹野 恵(ソプラノ)／大塚 道子(メゾソプラノ)／平岡 貴子(ソプラノ) 佐藤 貴子(ソプラノ)／諸田 広美(メゾソプラノ)
器楽(出演順)	ユリヤ・レヴ(ピアノ)／松原 聡(ピアノ)／萩原 晴美(ピアノ) マクシム・クリーコフ(バラライカ)
司会	瀧川 幸恵

チラシデザイン■アンドリイ・ミッシャク